



よりよい高井戸第二小学校を目指して

～令和3年度 教育調査・学校関係者評価の結果報告～

副校長 久野 浩誉

令和3年度もあと2か月を残すのみとなりました。まとめの時期を迎え、本校では、本年度の教育活動を振り返り、次年度、さらによりよい学校になるための準備を進めているところです。

本年度も新型コロナウイルスが社会を席捲しました。そんな中、保護者、地域の皆様のご理解とご協力をいただきながら、感染防止対策を十分にとり、日々の教育活動を進めてまいりました。そして昨年11月末からこの1月にかけて、教職員対象の自己評価、児童対象のアンケート、保護者の皆様への教育調査、学校評価委員（CS委員兼務）による学校関係者評価を実施しました。

この学校評価特集号では、令和3年度の本校の教育活動を、3年度教育調査および学校評価シート（自己評価・学校関係者評価）により振り返り、皆様からのご意見を今後の教育活動に生かす具体的な方策をお示しします。今後も引き続きご理解、ご協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。

	観点	項目	肯定的評価 (%)	
			令和2年度	令和3年度
1	学校経営	子どもの学校生活は、全体として満足できるものである。	87.8	80.4
2	小中一貫教育	連携する小・中学校による小中一貫教育が進められている。	25.9	26.2
3	学校評価	学校は、教育活動に関する評価結果とそれに基づく改善策等の情報を提供している。	67.6	70.6
4	学級経営	学校では、子どもが安心・安全な学校生活を送ることができる学級づくりをしている。	86.4	82.4
5	学習成果の実感	子どもは、学校で学ぶことにより、必要なときに、必要なことを、自ら学んで身に付けることができる力が育っている。	項目なし	70.3
6	学習評価	学校は、子どもの学習状況を適正に評価している。	75.1	76.2
7	I C T	学校は、ICT機器（電子黒板やデジタル教科書等）を活用した授業を行っている。	65.5	72.6
8	道徳教育	子どもは、学校生活を通して、他者と共によりよく生きるための力が育まれている。	88.4	81.2
9	体育・健康教育	子どもは学校生活を通して体力や食、生活習慣等、健康な生活を送る力が育まれている。	87.1	84.3
10	心の教育	子どもが人間関係や自分自身の心の問題で悩んだとき、学校は、その解決をきめ細かに支援してくれている。	項目なし	57.2
11	特別支援教育	学校は、子どもたちの発達に関する課題など、障害理解を深める情報を提供している。	55.9	48.8
12	特別支援学校・学級との交流	子どもは、特別支援学校や特別支援学級の子どもと交流したり、一緒に活動したりする機会がある。	項目なし	53.3
13	地域と共に在る学校	学校は、家庭や地域と連携・協力して教育活動を行っている。	76.7	63.9

※ 肯定的評価:「とてもそう思う」「ややそう思う」「どちらともいえない」「あまり思わない」「まったく思わない」「質問の内容がよく分からない」

のうち、「とてもそう思う」と「ややそう思う」を肯定ととらえ、%で表したもの。

令和3年度 学校評価（自己評価）シート

経営方針	項目	具体的な方策	反省点・改善策の把握		令和4年度の方針
			◎成果	■課題	
1 人権尊重の精神と豊かな心の育成	指しぬの充実	<ul style="list-style-type: none"> よさを認める共感的な指導と組織的な体制づくり 生活指導夕会（週1回） 特別支援夕会（週1回） 特別支援全体会（年2回） 定例校内委員会（月1回） 臨時校内委員会（適宜） SSW、子ども家庭支援センター等関係機関との連携 保護者との連携 	◎校内委員会が適切に実施できていてよい。担任だけではなく、学校全体で児童を見守っていく体制ができています。 ◎特別支援全体会は、要点を抑えて情報共有されており、設定された時間の中で充実した情報交換ができました。 ■職員夕会が設定された時間を過ぎてしまうことがある。	◎校内委員会は、来年度も月曜日の委員会の時間に位置づけ、月1回の確実な実施を行う。また、週1回の特別支援夕会での丁寧な報告を継続し、職員全体で共通理解を図る。 ◎PC上の連絡掲示板を有効活用する。また、一人一人が、掲示板を常に確認し、学年間でも共有をはかる。提案内容を確認して、時間を守って打ち合わせを行う。 ◎児童への個別の支援を充実させるため、担任間の引継ぎを確実にし、保護者との連携を充実させる。	
	う明るの学校	<ul style="list-style-type: none"> 大人が率先して挨拶する 看護当番の活用 だてわりあいさつ運動 代表委員会のあいさつ運動 	◎だてわりのあいさつ運動を同じグループが2回連続で行うようにしたところ、明るくあいさつが広がった。 ■あいさつ運動以外の時、自分から進んであいさつする児童が少ない。	◎よりよい人間関係をつくっていくためにあいさつが必要であることを改めて指導し、来年度もだてわりのあいさつ運動は同じグループが2回連続で行う。 ◎大人が率先してあいさつをすることで、子どもたちにあいさつをする習慣を身に付けられるようにする。	
	め豊かな心の教育	<ul style="list-style-type: none"> 週1回の計画的な道徳の実施 自己有用感や自己肯定感を高めることを大切に指導 夏季休業中の校内研修 道徳授業地区公開講座 	◎週1回、計画的に道徳を行うことで、自己肯定感を高めることができています。 ◎保護者に協力してもらい、思いを伝える授業はととても効果的であった。 ■コロナの感染拡大で道徳授業地区公開講座が中止になってしまったので、来年度は是非実施したい。	◎道徳の授業については、来年度も計画的に実施し、道徳授業研修を夏季休業中に行う。 ◎保護者の方に協力していただく授業を来年度も実施していきたい。 ◎コロナの感染が早く収束し、道徳授業地区公開講座を実施できることを切に願う。	
	て生命の大切さを実感	<ul style="list-style-type: none"> 教材園の活用 ピオトープの活用 	◎飼育・環境委員会の児童の活動によりピオトープがきれいに保たれている。 ■ピオトープの更なる効果的な活用のために、専門家のゲストティーチャーの方に指導をしていただきたい。	◎児童が主体となって整理できたのはとてもよかったので、来年度も児童の意欲を大切にしたい。 ◎以前、杉並環境ネットワークの方に外部講師としてピオトープの活用についてレクチャーをしてもらったので、来年度は、是非レクチャーをしていただきたい。	
2 確かな学力と体力の定着	律基本的生活習慣・学習規	<ul style="list-style-type: none"> 「だかにハンドブック」の活用 学習規律の統一 	◎「だかにハンドブック」のおかげで、全校共通して持ち物など指導できるので、とても良い。 ◎「だかにハンドブック」の配布時期が4月なのは良かった。 ■学年が上がるにつれて、持ち物のきまりを守らなくなっている実態がある。	◎「だかにハンドブック」は来年度も配布する。4月上旬の配布を目指し、今年度中に作成する。 ◎「学習に必要なものはもってこない」「持ってくるものはシンプルなもの」を、低学年のうちから定期的に指導する。 ◎朝会等で「だかにハンドブック」の内容を伝える時間を設ける。	
	読書活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> 学校司書の活用 学校図書館経営計画・図書館全体計画の活用 	◎学校司書が、学習の進度に合わせて、資料を迅速に準備してくれてありがたい。図書資料を授業で効果的に活用できている。 ◎団体貸し出し本の選定や読み聞かせ等保護者の方の協力にとっても感謝している。	◎来年度も、学校司書と担任が連携して、日々の読書活動や関連書籍を利用した教科の学習の充実を図っていく。 ◎団体貸出本は、日常的に読書活動に取り組むうえで効果的である。読み聞かせについても学年に応じた本の選定をしていただいているので、来年度も是非継続していただくようお願いしていく。	
	学習習慣の確立	<ul style="list-style-type: none"> 家庭との協力 低中学年までに学習習慣を確立 	◎学校に対して肯定的に見てくれている保護者が多く、家庭学習について、協力が得られている。 ■一律ではなく学年や個に応じた家庭学習の取組を行う必要がある。	◎家庭との連携を継続する。児童にどのように指導するのかを共有したうえで、家庭と学校が足並みをそろえて指導できるようにする。 ◎学年や個別の対応を進めていく。	
	体力向上への取り組み	<ul style="list-style-type: none"> 「体育科年間計画」の活用 体育授業改善の普遍化 運動の日常化実践 ミニ研修会 短縄の取組 体力テスト 基本的な生活習慣の確立 水泳指導 	◎感染対策をした上での水泳指導を実施できたことがよかった。夏季水泳指導（水泳パワーアップ）は対象児童を絞って計画を立てたが、感染拡大により実施できなかったのは残念だった。 ■体力調査の協力をしていただく保護者の方に説明がうまく伝わっていないところがあった。	◎水泳指導については、今年度同様感染対策を十分行った上で、実施する。また、夏季水泳指導（水泳パワーアップ）は、今年度計画した内容で是非実施したい。 ◎体力調査については、計測方法を分かりやすく説明するために、写真等で掲示をしていく。	

「教育調査」の集計結果と教育活動の報告

本年度の杉並区教育調査は、区内共通の13の設問について、Microsoft Forms を利用し、学校評価のアンケートをお願いしました。残念ながら回答率は46.7%にとどまり、昨年の95.8%と比べ大変低い結果となりました。回答率が高ければ高いほど、調査の精度が高まります。来年度は回答率100%を目指し、回答方法を工夫していきたいと思います。

保護者アンケートにおいて肯定率が高かった項目（80%以上）は、「学校経営80.4%(87.8%)」「学級経営82.4%(86.4%)」「道徳教育81.2%(88.4%)」「体育・健康教育84.3%(87.1%)」でした。（ ）内の数字は令和2年度のものです。

肯定率が低かった項目（70%未満）は、「小中一貫教育26.2%(25.9%)」「心の教育57.2%(項目なし)」「特別支援教育48.8%(55.9%)」「特別支援学校・学級との交流53.3%(項目なし)」「地域とともに在る学校63.9%(76.7%)」でした。

4月の保護者会において校長からお示した通り、令和3年度は、4つの大きな学校経営目標を掲げ、取り組んでまいりました。ここでは、目標ごとに、保護者アンケートと児童アンケートを提示しながら、取組状況と来年度に向けての課題をもとにした方策をお伝えしていきます。

1 人権尊重の精神と豊かな心の育成

<保護者アンケート>

- | | |
|---|------------|
| 「子どもの学校生活は全体として満足できるものである」 | 肯定的評価80.4% |
| 「学校では、子どもが安心・安全な学校生活を送ることができている」 | 肯定的評価82.4% |
| 「子どもは、学校生活を通して、他者と共によりよく生きるための力が育まれている」 | 肯定的評価81.2% |

<児童アンケート>

- | | |
|--------------------------------------|------------|
| 「先生は、クラスのみんなが分かり合い、協力し合えるようにしてくれている」 | 肯定的評価83.1% |
|--------------------------------------|------------|

高井戸第二小学校では、「互いのよさを認め合い高め合う学級、学校づくり」を目指しています。いじめ・不登校のない学校をめざし、一人一人がかけがえのない存在として尊重されることを児童一人一人にしっかり根付かせたいと考えています。そのような意味では、上記の評価は大変嬉しい結果です。

一方、課題も明確になっています。

<保護者アンケート>

- | | |
|--|------------|
| 「子どもが人間関係や自分自身の心の問題で悩んだとき、学校は、その解決をきめ細かに支援してくれている」 | 肯定的評価57.2% |
| 「学校は、子どもたちの発達に関する課題など、障害理解を深める情報を提供している」 | 肯定的評価48.8% |
| 「子どもは、特別支援学級の子どもと交流したり、一緒に活動したりする機会がある」 | 肯定的評価53.3% |

この調査結果を踏まえ、来年度は以下のことを重点にしていきます。

○児童一人一人との信頼関係を築き、課題には組織的に対応する

まずは児童の気持ちに寄り添い、一人一人の悩みや課題をとらえられるよう、担任と児童との信頼関係を深めていきます。本年度も対応すべき状況があった場合には、担任一人で抱えることなく、校内の生活指導や教育相談、特別支援の組織を活用し、組織的な対応を心がけてきました。職員全体で対応しようという意識が定着してきています。特に校内委員会は、学校生活の中で「困り感」をもっている児童に学校が組織体としてどう働きかけていくか、検討し、対応してきました。今後も保護者の皆様との連携をさらに深めるために個人面談をより充実させていきます。

○特別支援学級との交流と、児童の発達の課題についての情報発信を行う

特別支援教育については、本年度、コロナにより、通常級児童と特別支援学級児童との交流ができませんでした。来年度は、例年通り久我山学級の児童との交流をさらに広げ、児童間の交流を通して、児童への特別支援教育についての理解や啓発を図っていきます。また、本年度は実施できませんでしたが、来年度は道徳授業地区公開講座などの機会にも特別支援教育をテーマとした講演会を実施していきたいと考えています。また、子どもたちの発達に関わる課題等については、学校だよりや保護者会を通して情報発信していきます。

2 確かな学力と体力の定着

<保護者アンケート>

「子どもは学校生活を通し体力や食、生活習慣等、健康な生活を送る力が育まれている」

肯定的評価 84.3%

<児童アンケート>

「授業では、自分が必要な時に、必要な仲間と協力しながら学んでいる」 肯定的評価 81.9%

「学校の授業によって、分かることやできることが増えている」 肯定的評価 85.3%

「先生は、授業において電子黒板やデジタル教科書を活用している」 肯定的評価 93.3%

「先生は、健康的な生活を送るために必要なことを教えてくれている」 肯定的評価 80.9%

本校では、平成 31 年度より杉並区教育委員会 教育課題指定校として「学びの構造転換」を目指し、対話を核とした「主体的・対話的で深い学び」の視点から学習過程の改善を図り、対話を通して他者と学び合う活動を取り入れてきました。そして、その成果をこの 2 月に発表します。

また、確かな学力を定着させるために、一人一人の学力の実態に応じた指導を徹底し、特に算数では習熟度別少人数指導が効果を発揮しているととらえ、「学びのこし」のある児童も、算数の得意な児童も共に、学力の伸長を目指してきました。それらの結果が、児童のこの調査結果に表れていると考えています。次年度もさらに、学力中位の子どもの思考力・判断力・表現力を伸ばし、上位に引き上げることを課題とし、学力向上に取り組んでまいります。

体力の育成についても、保護者、児童の調査ともにより結果となりました。コロナ禍の中でしたが、体育の授業、運動会、体育に関わる行事等、中止することもなく実施できました。運動会では、たくさんの保護者の皆様に子どもの姿を見ていただきました。また、体力テストについては、多くの保護者・地域の皆様に計測のお手伝いをいただきました。ありがとうございました。

次年度も調査結果を踏まえた授業改善をしたり、外遊びがしたくなるような場の設定や遊びの多

様化等、運動遊びの日常化を進めたりすることで、児童の体力向上に取り組んでいきたいと考えています。

<保護者アンケート>

「連携する小、中学校による小中一貫教育が進められている」 肯定的評価 26.2%

「学びをつなげ、切れ目のない教育を進める」というねらいのもと、本年度も小中一貫教育として、松庵小や西宮中の授業をオンラインで参観し授業について協議してきました。また、6年生には、西宮中の生徒会のみなさんに、中学校生活についてオンラインで教えてもらい、その後3校で意見交換を行いました。意見交換では、本校6年生が積極的に質問や報告、感想を述べ、本校で培ってきた対話の力が発揮されていることを実感することができました。しかし、コロナ禍において、本年度は例年に比べ、かなり縮小を余儀なくされたことは事実です。

これらの課題を踏まえ、来年度は以下を重点に教育活動を行っていきます。

○小中一貫教育の推進と情報発信を行う

本年度行った中学の生徒会と6年生との交流だけでなく、さらに活動を広げ、中学生による読み聞かせ、おすすめの本の紹介、西宮中へ行ってのビブリオバトル、クラブ活動体験など、今後も小中一貫教育の内容を深めていきたいと考えています。また、「小中一貫だより」を復活させ、三校での取組を「小中一貫だより」で紹介していきたいと考えています。

3 教員の授業力の向上

<児童アンケート>

「授業では、自分が必要な時に、必要な仲間と協力しながら学んでいる」 肯定的評価 81.9%

「学校の授業によって、分かることやできることが増えている」 肯定的評価 85.3%

「先生は、授業において電子黒板やデジタル教科書を活用している」 肯定的評価 93.3%

本年度も、感染予防に細心の注意を払いながら、児童にとって学びがいのある授業を積み上げ、教員一人一人が授業力の向上に力を入れてきました。「学校は、人が育つところ」、児童と同様に教員一人一人も、教えることのプロフェッショナルとして育っていく場を目指しています。1時間1時間の授業がよくわかり楽しいことは、学校が一番力を入れなければならないことです。次年度も、長期休業中の学力向上の校内研修会を通して授業改善プランを作成し、児童の実態をしっかりと把握し、よく分かる授業を目指していきます。また、本年度も引き続き「主体的・対話的で深い学び」の視点からの学習過程の改善を図る校内研究を進めてきました。マスク着用やソーシャルディスタンス等の対策をとった上で対話を通して他者と学び合う活動を取り入れ、児童が学級内で互いを認めながら、より一層、自己の考えを広げ、深められるような学習指導に力を入れてまいります。そして、学びの個別化と探究化、それに協働を融合する学びである「学びの構造転換」についても研究を深めてまいります。

さらに本年度、タブレットが全児童に配布されたことにより、タブレットを活用した授業が今まで以上に展開され、子どもたちの学習意欲や表現力の向上につながっていったと考えています。今後はさらにデジタル教科書やロイロノート、動画コンテンツなど、タブレットを各教科の協働学習や個別学習に活用していきます。

<児童アンケート>

「授業では、自分の得意なところを伸ばしたり、苦手なところを少なくしたりできるように、個別に教えてくれている」肯定的評価 45.7%

この課題については、早急に改善が必要です。来年度は次の点を重点に対応していきます。

○児童の学習状況をとらえ、一人一人の学び方や課題に対応した授業改善を行う

本年度、夏の研修会ではQ-U調査と学力調査の分析をもとに授業改善プランを作成し、授業改善を進めてきました。Q-U調査は、子ども一人一人のクラスでの様子について調査するものです。5・6年生は、Q-U調査を6月と10月の2回行っています。1回目より2回目、全学級において学級生活満足群が増えています。今後は、さらに子どもたちの内面に踏み込み、「何に興味があるのか」「どんな力がついているのか」「何に苦手意識があるのか」等、子ども一人一人の学習状況をとらえ、その学び方や課題に応じた多様な学びができるように授業改善を図っていきます。

4 開かれた学校づくり

<保護者アンケート>

「学校は、家庭や地域と連携・協力して教育活動を行っている」肯定的評価 63.9%

<児童アンケート>

「地域の行事に参加している」肯定的評価 33.6% 回答不能 20.2%

「先生は、地域の人たちと協力し合いながら、授業や学校行事をよりよくしてくれている」

肯定的評価 55.9% 回答不能 15%

コロナにより、残念ながら地域の方を招いての学習活動はほとんど行うことができませんでした。また、地域の行事についても、ホテル祭り、久我山神社の祭礼、親児の会・PTA主催の凧あげ等、ほとんど行われませんでした。しかしそんな中、読書活動支援（読み聞かせ等）、2年馬頭琴コンサート、4年誕生学、5年扇作り、6年キャリア教育、体力調査お手伝い等、保護者・地域の力をお借りしながら実施することができたものもありました。保護者、地域とのかかわりが目に見える形で行われなかったことがこの結果につながったのではないかと考えられます。しかし、高井戸第二小の教育活動が学校支援本部・保護者・地域の皆様に支えられ成り立っていることに変わりはありません。今後も、保護者、地域との連携を大切にしながら、開かれた学校づくりを進めて参ります。

ここまで多岐にわたりましたが、教育調査をもとに、令和3年度 高井戸第二小学校の教育活動の報告と次年度に向けた改善策等について述べさせていただきました。

ご理解いただき、今後もよりよい学校づくりにご協力ください。

第7回 学校運営協議会・学校評価委員会 記録

1. 日 時 令和4年1月22日(土) 13時～14時30分
2. 場 所 校長室
3. 出席者 熊耳 前田 向 金澤 岡村 右寺 秦 橋本 【事務局】久野 野田 杉田 中村
4. 議 題

(1) 会長あいさつ

- ・年度末、学校のまとめの時期になりました。本日は、提案されている学校評価をしっかりと受け止め、来年度のよりよい学校づくりの指針となるよう検討していきましょう。
- ・学校は2月10日の研究発表会に向けて、本当に忙しい時期だと思います。3年間という長い間の研究成果が、存分に発揮されるよう心から応援したいと思います。

(2) 校長あいさつ

- ・本日は委員の方々には評価委員として、今年度の学校の姿を評価していただきたいと思います。
- ・研究発表会は今、発表に向けて全校をあげて力を尽くしているところです。

(3) 教育活動報告

①令和3年度学校評価：児童、教員、保護者の評価結果から低評価だった項目を中心に説明を受け、その原因や課題を検討し意見を述べた。

→(各委員)：たくさんの高い評価項目があり喜ばしいことだ。しかし、個別の指導、人権教育、小中一貫教育などで、好ましい評価を得られなかった理由を具体的に分析して改善に向けて努力してほしい。

コロナ禍で、地域の方とのふれあいや関係の機関との連携を図ることが難しかったことは理解できる。また、小中一貫教育では何をやるのかではなく、何のためにその活動を行うのか、その理由が明らかになると、私たちの理解も深まっていくのではないか。

→(委員)：回答の督促も含め、紙から電子データに回答方式が変わったことは、回答率に大きく影響があると思う。併せて、質問の文言についても、区からの定型文言とはいえ、分かりやすくする必要があると思う。

②学習発表会：コロナ禍対策もあり、今年度から日常の学習成果を発表する場を意識して、「学芸会」ではなく「学習発表会」という形で、子どもたちの学びを見ていただこうと企画した。どの学年も子どもたちが自分たちで実践していく姿がいい成果を生んだものと評価している。今後もこの形で進めていきたい。

→(委員)：ステージではなく平場での学習披露だったが、発表の該当学年の保護を優先させたプレミアムシートはうれしい工夫であった。

→(委員)：子どもたちが一生懸命に発表している姿は、涙が出るくらい素晴らしかった。

→(委員)：各学年の子どもたちが一丸となって、学んだことを劇としてまとめる機会を得たことは、企画力や人間関係力を身につける上で大きな学習成果だったと思う。

→(委員)：コロナ禍でこれまでの学習活動の変更や工夫が強いられた。元の形に戻すことに汲々とするのではなく、変更した良さを多面的に検討して、これからの教育活動の在り方を検討してほしい。

→(学校)：コロナ禍でたくさんの制限があり、様々な行事を行うための工夫や根本的な改善をしなければいけなかった。遠足や学習発表会のように、それを成果としてとらえて継続していきたい。

新型コロナウイルス感染症拡大に伴う今後の教育活動について

新型コロナウイルスの感染が急激に拡大しています。

学校のできる対策として、1月中旬より、石鹸での手洗いの頻度を増やし、その都度アルコール消毒を行うことと学習活動の見直しを行い、歌唱指導等、しばらく見合わせることをいたしました。

本校では、保護者の皆様から陽性や濃厚接触の連絡を早めにいただいております。陽性者がある場合には、すぐメールでお知らせしているところです。一つ一つのケースについて状況をお聞きし、保健所や教育委員会の指導のもと、感染経路や校内の活動で濃厚接触に当たる活動の有無などから、通常の教育活動を実施できるかどうか判断しております。

1月末現在、学級閉鎖等の措置を行う状況ではありませんが、今後、陽性者の急増や校内感染が疑われる状況になった場合は、学級閉鎖、学年閉鎖や全校臨時休業の措置を取らざるを得ないことも想定されます。子供たちの健康を第一に考え判断してまいりますので、引き続き、ご理解とご協力をお願いします。

なお、学級閉鎖等の場合には、個人タブレット PC を活用し、オンラインホームルームや課題提示、説明等により、家庭での学びのサポートをしていきます。オンライン環境等のご事情もあると思いますので、できる範囲でご活用ください。また、メールシステムも活用し情報提供いたします。(閉鎖等の際は低学年もタブレット PC を持ち帰ります。)

各ご家庭では以下の点を引き続き実行し、より一層の感染予防と健康管理にご協力ください。

- ① 同居家族の体調不良の場合も含め少しでも風邪症状がありましたら、無理をせず登校を控えてください。感染予防のために登校を控える場合は、欠席にはなりません。
- ② 風邪症状がある場合は休養すると共に杉並区受診・相談センターにご相談ください。
- ③ マスクの正しい着用(不織布マスクを推奨します)、こまめな手洗い、登校時の確実な検温と健康観察カードの記入・提出にご協力をお願いします。
- ④ 同居家族も含め、濃厚接触の判定や PCR 検査受診の情報は早めにご連絡ください。

今後、校内感染が疑われる場合は状況が判明次第、迅速に「すぐメール」でお知らせいたしますが、感染経路が判明し校内濃厚接触の状況が無い場合は定期的に取りまとめたの情報提供になる場合もありますので、ご理解をお願いいたします。学校では、丁寧な健康観察、三密の回避、予防のための教育活動の工夫を続けてまいります。

なお、感染者に対する差別や偏見、誹謗中傷が生じないように、引き続きご協力ください。

※2月10日に予定しておりました杉並区教育委員会教育課題研究指定校研究発表会は、区内小中学校対象のオンライン発表に変更いたしました。

～2月行事予定～

～3月行事予定～

日	曜	行事等	授業時数						校庭開放
			①	②	③	④	⑤	⑥	
1	火	安全指導	5	5	6	6	6	6	
2	水		4	5	5	5	5	5	B
3	木	たてわり活動(赤) あいさつ運動(予備日)	5	6	6	6	6	6	
4	金	新1年生保護者会 読み聞かせ①②③④⑤⑥	4	5	5	6	6	6	
5	土								
6	日								C
7	月	クラブ活動(9)	5	5	5	6	6	6	
8	火	たてわり活動(青)	5	5	6	6	6	6	
9	水		4	4	4	4	4	4	A
10	木	高二小研究発表 特別時程	4	4	4	4	4	4	
11	金	建国記念の日							
12	土								
13	日								C
14	月	小中一貫の日	4	4	4	4	4	4	
15	火		5	5	6	6	6	6	
16	水		4	5	5	5	6	6	B
17	木		5	6	6	6	6	6	
18	金	特別時程5時間	5	5	5	5	5	5	
19	土								
20	日								C
21	月	扇作り⑤(3, 4h)	5	5	5	6	6	6	
22	火	たてわり活動(黄)	5	5	6	6	6	6	
23	水	天皇誕生日							C
24	木	たてわり活動(緑) 理科出前④(2学級)	5	6	6	6	6	6	
25	金	理科出前④(2学級)	5	5	5	6	6	6	
26	土	土曜授業(公開) キャリア教育⑥ 扇作り⑤	5	5	5	5	6	6	
27	日								C
28	月	振替休業日							C

○の数字は学年、(久)は久我山学級を表します。
 S C・・・スクールカウンセラー来校日です。
 水曜日は原則、毎週特別時程です。
 P T A・地域行事等は斜体で表します。

校庭開放について

水曜特別時程4時間・・・13:30～16:00 (A)
 水曜特別時程6時間・・・14:40～16:00 (B)
 日曜日・祝日・・・・・・13:00～16:00 (C)
 ※11月～2月までは16:00までです。

日	曜	行事等	授業						校庭開放
			①	②	③	④	⑤	⑥	
1	火	安全指導 委員会(3月)	5	5	5	5	6	6	
2	水		4	5	5	5	6	6	B
3	木	6年生を送る会 保護者会⑤⑥	5	6	6	6	5	5	
4	金	読み聞かせ①②④⑥	5	5	5	6	6	6	
5	土								
6	日								C
7	月		5	5	5	5	6	6	
8	火	保護者会③④	5	5	5	5	6	6	
9	水	5時間授業	4	5	5	5	5	5	B
10	木	卒業・進級を祝う会(久) 保護者会①②(久)	5	5	6	6	6	6	
11	金		5	5	5	6	6	6	
12	土	土曜授業(公開)	3	3	3	3	3	3	
13	日								C

※2月、3月の避難訓練は予告なしで行います。

※コロナウイルス感染拡大防止のため、行事の変更を行う場合があります。

〈保護者会のお知らせ〉

本年度最後の保護者会になります。ぜひご参加ください。
 当日は不織布マスクの着用をお願いいたします。検温の上体調が少しでもすぐれない場合は、出席を見合わせていただくようお願いいたします。

○日程

3月 3日(木) 5年 6年 15:00～ 各教室
 3月 8日(火) 3年 4年 15:00～ 各教室
 3月10日(木) 1年 2年 15:00～ 各教室
 3月10日(木) 久我山学級 13:50～

久我山プレイルーム

○内容 教育活動報告 3学期の様子 あゆみについて
 春休みの生活

〈研究発表会について〉

2月10日(木)に杉並区教育委員会教育課題研究
 指定校研究発表会を実施します。

以下の学級は研究授業を行うため、下校時刻が変わります。授業終了後、14:10頃の下校になります。

〈研究授業をする学級〉

1年3組 4年1組 5年4組 6年3組

尚、当初予定していた参観者が集合することは、新型コロナウイルス感染予防の観点から、中止となりました。授業は公開しません。

2月の生活目標『健康で安全な生活をしよう』

新型コロナウイルスの感染者数が増えています。保護者の皆様も、感染拡大をご心配されていることと思います。学校では、マスク着用や手洗いと消毒、ソーシャルディスタンスをとることなど、引き続き感染症対策に取り組んでいます。

また、抵抗力を高め丈夫な体を作るためには、外で体を動かすことも大切です。寒さに負けず、晴れた日には外に出て、体を動かして健康で安全な生活を心がけていきたいです。

話は変わりますが、本校では学習に関係のないものは持ってこないように指導しています。お子さんの持ち物はいかがでしょうか。改めて高二ハンドブックをご覧いただき、持ち物の確認をしてください。子どもたちが落ち着いた学校生活を送るためにも、ご協力をお願いします。